MEDIAEDGE-STB4

設定ガイド

ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、メディアエッジ株式会社 カスタマーサポートまでお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社
カスタマーサポート
TEL：078-265-1552
FAX：078-265-1550
(月曜～金曜10:00～12:00、13:00～17:00
※土日祝および当社指定休日を除く)

安全にお使いいただくために

絵表示について
本製品を正しくお使いいただくために次のような表示をしています。
内容をよく理解してから本文をよくお読みください。

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

取り扱いを誤ると、けがや周囲の物品を損傷するおそれのある内容を示しています。

は注意を促す事項を示しています。

はしてはいけない行為を示しています。

はしなければならない行為を示しています。

ご注意

(1) 本書の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
(2) 本書の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
(3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがございましたら、当社までご連絡ください。
(4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
(5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
(6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。
(7) MEDIAEDGEはメディアエッジ株式会社の登録商標です。
(8) HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLCの商標または登録商標です。
(9) Manufactured under license from Dolby Laboratories.
(10) Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.
(11) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

■本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
■説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。
■本書で「Webブラウザ」とは「Internet Explorer 7」以降を意味しているものとして表記します。

警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

警告

禁止

● 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。

ACアダプタを抜くときは、プラグ部分を持ってください。

コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。

禁止

● 付属のACアダプタ以外は使用しない

本製品付属のACアダプタ以外は使用しないでください。火災や製品故障の原因となります。

分解禁止

● キャビネットを開けない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。

禁止

● ほこりや湿気の多い場所では使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。

禁止

● 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入った場合は、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

禁止

● 雷が鳴り出したら使わない

本体やプラグには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

● ぬれた手でACアダプタを触らない

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

火災

● 直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

プラグを抜く

● 煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源コードを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

プラグを抜く

● 製品が破損した状態で使用しない

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

注意

● 不安定な場所に置かない
不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。
落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。

● お手入れの際は電源を切る
接続するときやお手入れの際は、電源プラグを抜いてください。
感電や製品の故障の原因となります。
お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

● 付属のACアダプタ
会社名：Touch Electronic Co.,Ltd.
型：　SA06-24S12R-W/U

● コード類は正しく配置する
電源コードやAVケーブルは整理して配置してください。
足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。

● 本体を布などで覆わない
風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。
通風孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

● 長時間使わないときはACアダプタを外す
使用しないときは、安全のためACアダプタをコンセントから外してください。

■個人情報の取扱いについて
当社では、原則として①ご記入いただいたお客様の個人情報は下記目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービスにてお知らせいたします。
当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情が無い限りお客様の承諾無く第三者に開示・提供することはございません。
1.ご利用の当社製品のサポートの実施
2.当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
　＊調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供いたします。
3.銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
4.ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
5.懸賞企画等で当選された方やお客様への賞品の発送
　＊お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問い合わせはhttp://www.mediaedge.co.jpまでご連絡ください。

MEDIAEDGE-STB4
設定ガイド
February 1, 2012
Copyright © 2012 MEDIAEDGE Corporation
All rights reserved.

目次

1. 確認

1 はじめに..... 8
1-1 ご使用に当たっての留意事項..... 8
1-2 パッケージ内容の確認..... 8
1-3 当社ホームページについて..... 9
1-4 利用許諾について..... 10
2 MEDIAEDGE-STB4について..... 11
2-1 概要..... 11
2-2 特長..... 12
2-3 ユーザーと管理者..... 12
2-4 MEDIAEDGE-STB4の動作モード..... 13
2-5 MEDIAEDGE-STB4の設定方法..... 14
3 MEDIAEDGE-STB4の各部の名称と機能..... 15
3-1 MEDIAEDGE-STB4前面部..... 15
3-2 MEDIAEDGE-STB4背面部..... 16
3-3 リモコン（オプション）..... 17

2. MEDIAEDGE-STB4の接続

1 MEDIAEDGE-SVS4との接続..... 20
1-1 MEDIAEDGE-STB4を接続する..... 21
1-2 DHCPを使用する場合..... 23
1-3 DHCPを使用しない場合..... 26
1-4 MEDIAEDGE-STB4の動作を確認する..... 33
2 MEDIAEDGE-LEB4との接続..... 35
2-1 接続する..... 35
2-2 MEDIAEDGE-STB4のIPv4アドレス、メニューページのURLを設定する... 36
2-3 MEDIAEDGE-STB4の動作を確認する..... 39

3. MEDIAEDGE-STB4の設定方法

1 Webブラウザによる設定..... 42
1-1 MEDIAEDGE-STB4 Webコンソールの呼び出し..... 42
1-2 MEDIAEDGE-STB4トップページ..... 43
1-3 情報表示 - 設定値..... 44
1-4 情報表示 - 状態表示..... 45
1-5 設定 - ローカル設定..... 46
1-6 設定 - チャンネルモード..... 55
1-7 設定 - 一括設定..... 56
1-8 設定 - 日時設定..... 57
1-9 システム管理 - 再起動、停止..... 58
1-10 システム管理 - 設定初期化..... 59
1-11 システム管理 - ファームウェア更新..... 60
1-12 システム管理 - 情報の取得..... 61
1-13 システム管理 - フォントのインストール..... 62
1-14 システム管理 - ユーザー名・パスワード変更..... 63
1-15 ソフトウェア・ライセンス..... 64
2 ディップスイッチによる設定..... 65
2-1 WOL(Wake On LAN)..... 65
2-2 映像出力フォーマットの設定..... 65
3 ファームウェアのアップデート..... 67
3-1 アップデート方法..... 67
4 メンテナンスモード..... 68
4-1 メンテナンスモードとは..... 68
4-2 ファームウェアの復旧..... 70
4-3 ユーザー名・パスワードを忘れてしまった場合..... 72

4. APPENDIX

1 制限事項..... 74
2 MEDIAEDGE-STB4とリモコンのID設定..... 75
2-1 リモコンにIDを割り当てる..... 75
2-2 MEDIAEDGE-STB4にIDを割り当てる..... 77
3 MEDIAEDGE-STB4/ハードウェア仕様..... 78

MEDIAEDGE

確認

1

この章では、セットアップを行う前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

- はじめに
- MEDIAEDGE-STB4について
- MEDIAEDGE-STB4の各部の名称と機能

1 はじめに

1-1　ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む間接損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。製品本来の使用目的および当社が推奨する使用環境下以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。

1-2　パッケージ内容の確認

MEDIAEDGE-STB4のパッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

メディアエッジ株式会社 カスタマーサポート
電話 ： 078-265-1552
（月曜～金曜10:00～12:00、13:00～17:00　※土日祝および当社指定休日を除く）

■ MEDIAEDGE-STB4同梱物

- □ **MEDIAEDGE-STB4本体**
- □ **ACアダプタ**
- □ **BNC-RCA 変換プラグ(x3)**
- □ **マニュアル**
  - ・MEDIAEDGE-STB4設定ガイド(本書)

□ **お客様情報登録**

下記ページにて、ご購入された製品とお客様情報のご登録をお願いします。

メディアエッジ株式会社　お客様情報登録ページ
http://www.mediaedge.co.jp/enq/u-reg.html

1-3　当社ホームページについて

MEDIAEDGE-STB4をはじめとする当社最新情報をホームページ(http://www.mediaedge.co.jp)にて発信しています。当社のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただきご活用ください。

1-4　利用許諾について

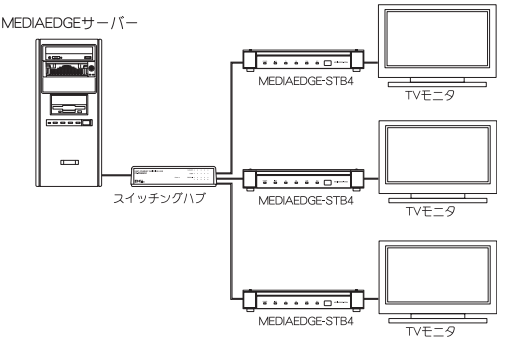
本製品は、搭載するソフトウェアの一部にGNU一般公衆利用許諾（GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ）またはGNU劣等一般公衆利用許諾（GNU Lesser General Public License、以下「LGPL」と呼ぶ）に該当するフリーソフトウェアを利用しています。GPL/LGPL該当ソフトウェアのリスト、ソースコードの請求、および本件に関する質問は、メディアエッジ株式会社　カスタマーサポートまでFAXにてお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社 カスタマーサポート
FAX : 078-265-1550
(24時間受付　回答は土日祝および当社指定休日を除く翌営業日以降)

2 MEDIAEDGE-STB4について

2-1 概要

MEDIAEDGEは、MPEG-2、またはH.264に圧縮したビデオ映像を蓄積・送出するサーバーコンピュータと、映像を受信・再生するための端末から構成されるネットワーク型のビデオ配信・表示システムです。MEDIAEDGE-STB4はサーバーから受信したMPEG-2のトランスポートストリームをビデオ信号に変換し、TVモニタに映像を表示するためのセットトップボックス端末です。



2-2　特長

●インターネットプロトコルバージョン6（IPv6）に対応。
●ビデオフォーマット　MPEG-2(SD/HD)、H.264(SD/HD)に対応。
●オーディオフォーマット　MPEG-1 Layer2、Dolby Digitalに対応。
●SMIL(Synchronized Multimedia Integration Language)を使用したレイアウト表示機能に対応。
※SMILを利用する場合は、Display Content Managerが必要となります。
●メニューモードとチャンネルモードを装備。
●W3C準拠のブラウザを搭載。
●VODメニューは入力フォームに対応し、ユーザー認証やユーザー別メニューの提供が可能。
●Internet Explorer 7以降(以下Webブラウザと表記)を使ってMEDIAEDGE-STB4の設定変更や遠隔操作が可能。
●シリアルポートからのシステムの設定および復旧が可能（メンテナンスモード）。
●ネットワーク経由によるファームウェアアップデート機能。
●リモートシリアルポート機能。
●DHCPによる自動設定・更新機能。
●対応フォーマット：　1080p、1080i、720p、480pおよびNTSC/PAL
●コンポジット、コンポーネント、HDMI出力に対応。
●FEC(Forward Error Correction)機能によりストリーミングデータのエラー訂正が可能。

2-3　ユーザーと管理者

●ユーザー
MEDIAEDGE-STB4を操作してコンテンツを視聴する人です。

●管理者
MEDIAEDGE-STB4の動作モードや動作パラメータの設定を行う人です。

本書はMEDIAEDGE-STB4の「管理者」を対象として書かれています。

2-4　MEDIAEDGE-STB4の動作モード

■ 動作モード

①メニューモード

メニュー画面の中から見たいコンテンツを選択し再生します。メニューはWebサーバーから取得します。

コンテンツの再生が終わると、再びメニュー画面が表示されます。

②チャンネルモード

メニュー画面は表示されず、テレビのチャンネル切り替えのようにリモコンの数字ボタンでコンテンツを選択します。チャンネル番号は1～99までです。コンテンツ（チャンネル）が何も選ばれていない時や、選んだコンテンツの再生終了後は「デフォルトコンテンツ」と呼ばれる映像が自動的に再生されます。チャンネルモードでは、チャンネル番号とコンテンツ（RTSP　URL）との対応付けをあらかじめ決めておく必要があります。

※1　動作モードはあらかじめ管理者が設定しておきます。ユーザーが動作中に切り替えることはできません。

※2　工場出荷時はメニューモードに設定されています。

■ メンテナンスモード

リセットスイッチを数秒間押し続けることで、メンテナンスモードで起動します。本モードでは画面に何も表示されません。シリアルケーブルで接続したコンピュータ上のターミナルソフトウェアを使って操作します。シリアルポートよりファームウェアの更新やその他の操作が可能です。

2-5　MEDIAEDGE-STB4の設定方法

MEDIAEDGE-STB4の設定は以下の方法で行います。

Webブラウザによる個別設定

Webブラウザを使って設定対象のMEDIAEDGE-STB4にアクセスして設定ページを開き、設定を行います。1台1台異なる設定が可能です。また工場出荷時の状態に戻したり、MEDIAEDGE-STB4を再起動したり、ファームウェアのアップデートも可能です。

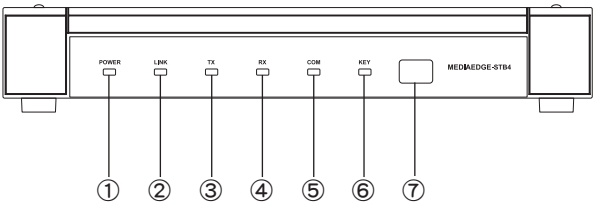
※MEDIAEDGE-STB4のWebブラウザによる設定は「Internet Explorer 7」以降にのみ対応しています。

DHCPによる自動設定

MEDIAEDGE-SVS4付属の「ベンダ固有情報設定ツール」を使用することでDHCPによる自動設定やファームウェアの自動更新を行えます。

3 MEDIAEDGE-STB4の各部の名称と機能

3-1 MEDIAEDGE-STB4前面部



①POWERランプ

MEDIAEDGE-STB4操作時に点灯します(下記参照)。

消灯　　：電源が入っていません。
橙色点灯：スタンバイ。
橙色点滅：Wake On LANスタンバイ。
緑色点灯：動作中。
緑色点滅：起動中/終了中。

②LINKランプ

ネットワーク(HUB等)と接続しているときに点灯します。

③TXランプ

ネットワークへデータを送信しているときに点灯します。

④RXランプ

ネットワークからデータを受信しているときに点灯します。

⑤COMランプ

COMポートを使用してデータの送受信が行われているときに点灯します。

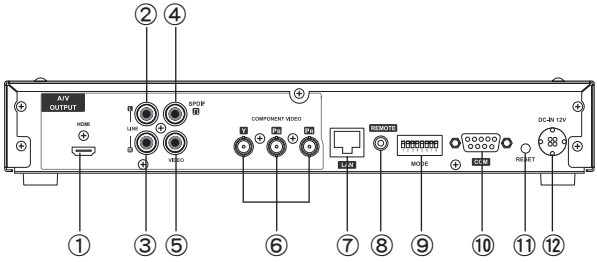
⑥KEYランプ

赤外線リモコンまたはREMOTE端子からキー信号を受信した時に点灯します。

⑦赤外線受光部

リモコンの赤外線受光部が内蔵されています。

3-2　MEDIAEDGE-STB4背面部



①HDMI

HDMI端子(タイプA 19ピン)です。

②AUDIO OUT-LEFT

オーディオ出力端子(左側)です。

③AUDIO OUT-RIGHT

オーディオ出力端子(右側)です。

④S/PDIF

同軸デジタル音声出力端子です。

⑤VIDEO OUT

コンポジットビデオ信号出力端子です。

⑥COMPONENT VIDEO OUT

コンポーネントビデオ(Y/Pb/Pr)出力端子です。

⑦LAN

Ethernetケーブルを接続する端子です。

⑧REMOTE

有線リモートコントロール用端子です。

⑨ディップスイッチ

WOL(Wake On LAN)を有効にする場合、もしくは映像出力フォーマットを変更する場合に使用します(第3章参照)。

⑩COM

RS-232C(パススルー用)端子です。

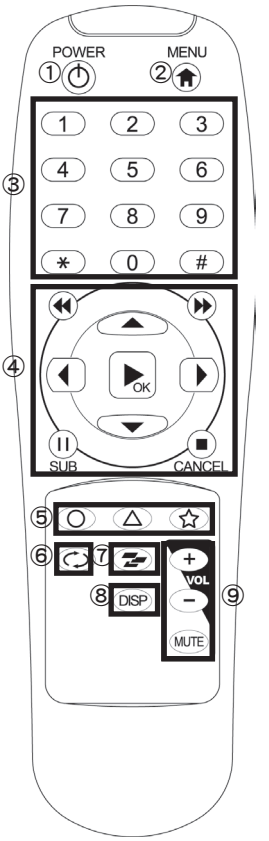
⑪RESET

緊急時のリセットに使用します。通常は使用しないでください。

⑫電源端子

付属のACアダプタを接続します。付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。

3-3　リモコン (オプション)



①POWERボタン

起動/終了します。

②MENUボタン

メニューモードで動作中は、メインメニュー画面を表示します。

チャンネルモードで動作中は、デフォルトコンテンツを表示します。

③数字ボタン

コンテンツ呼び出しや数字入力に使用します。

④ナビゲーションボタン

コンテンツ再生やメニューの選択に使用します。

⑤ファンクションボタン

システム情報を表示します。(△)ボタン以外は使用しません。

⑥リピートボタン

リピートのON/OFFに使用します。

⑦プレイモードボタン

使用しません。

⑧ディスプレイボタン

再生中のプレイインフォの表示/非表示の切り替えに使用します。

⑨ボリュームボタン

音量の調節に使用します。

📖注意！
リモコンで操作できる機能は、管理者の設定により異なります。

MEDIAEDGE

MEDIAEDGE

MEDIAEDGE-STB4の接続

2

この章では、MEDIAEDGE-STB4をストリームサーバー(MEDIAEDGE-SVS4をインストールしたサーバーコンピュータ、あるいはMEDIAEDGE-LEB4)と接続し、コンテンツ再生を行う手順について説明します。

- MEDIAEDGE-SVS4との接続
- MEDIAEDGE-LEB4との接続

1 MEDIAEDGE-SVS4との接続

ここでは以下の設定で構築されたMEDIAEDGEサーバーとの組み合わせでの使用例を説明しています。

●MEDIAEDGEサーバーの機能

サーバーコンソール用Webサーバー	(Windows 標準 IIS)
クライアントコンテンツ用Webサーバー	(Windows 標準 IIS)
DNSサーバー	(Windows 標準)
DHCPサーバー	(Windows 標準)

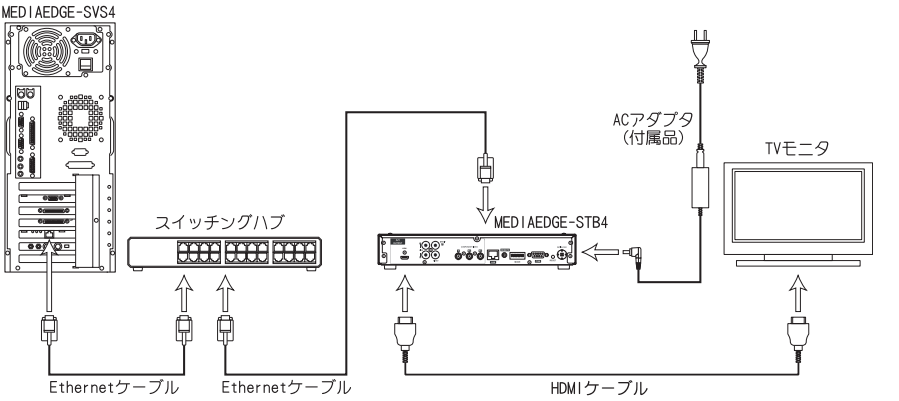
●MEDIAEDGEサーバーのネットワーク設定

IPアドレス	192.168.0.2
コンピュータ名	MEDIAEDGE-SVR
ホスト名	MEDIAEDGE-SVR
ドメイン名	localdomain
DNSアドレス	192.168.0.2
DHCPスコープ	192.168.0.16～192.168.0.250/255.255.255.0

※MEDIAEDGEを専用のネットワークで使用する場合には、これらの設定のまま利用することができます。また、必要に応じて変更することもできます。この場合、システムをインテグレートする業者もしくはネットワーク管理者にご相談ください。

1-1　MEDIAEDGE-STB4を接続する

以下の図を例に、MEDIAEDGE-STB4をサーバーコンピュータに接続してください。その際、以下の点にご注意ください。



●Ethernet関連の接続を確認する

サーバーコンピュータ、スイッチングハブおよびMEDIAEDGE-STB4が接続されていることを確認します。Ethernetケーブルが該当する接続端子に確実に接続されているか確認してください。

●TVモニタとの接続を確認する

MEDIAEDGE-STB4とTVモニタが接続されていることを確認します。MEDIAEDGE-STB4のHDMI、もしくはVIDEO OUTおよびAUDIO OUTが入力機器側の該当する端子へ接続されているか確認してください。

また工場出荷時、ビデオ出力モードはHDMI出力端子から1080i(59.94Hz)信号を出力する設定になっています。p.63「映像出力フォーマットの設定」を参照して、使用するモニタ表示に適合した信号設定を行ってください。

●MEDIAEDGE-STB4のACアダプタの接続を確認する

MEDIAEDGE-STB4付属のACアダプタのプラグが本体側面の電源端子に奥までしっかり差し込まれていることを確認してください。

●ストリームサーバーの起動を確認する

サーバーコンピュータの[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→ [MEDIAEDGE] → [MEDIAEDGE-SVS4] →[サーバー設定ツール]と進んで、『サーバー設定ツール』を起動します。[サービス制御]タブで「サービスの状態」の表示が「開始」となっていることを確認してください。

●リモコンに電池を装着する

リモコンに単4乾電池(2本)を装着してください。

1-2　DHCPを使用する場合

MEDIAEDGE-STB4は工場出荷時にはDHCPを使用する状態に設定されています。本章冒頭のMEDIAEDGEサーバーのネットワーク接続例の場合、MEDIAEDGE-STB4の電源投入後しばらくすると以下のメニュー画面がTVモニタに表示されます。

正しくメニュー画面が表示されない場合は以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1. MEDIAEDGE-STB4前面部のLINKランプが点灯していることを確認してください。消灯している場合はスイッチング/ハブの電源やEthernetケーブルの接続を確認してください。
2. DHCPサーバーの動作状態・設定を確認してください。DHCPサーバーからIPアドレスを取得するまでMEDIAEDGE-STB4は画面表示を行いません。

映像が乱れている、もしくは表示されない状態になっている場合は以下の内容を確認してください。

- 「第3章　2-2　映像出力フォーマットの設定」を参照し、MEDIAEDGE-STB4のビデオ出力を使用しているモニタに適合した出力に設定してください。
- ネットワーク間のデータ転送が正しく行えず、データが欠落している可能性があります。ネットワークケーブルなどのネットワークに関する機器を確認してください。

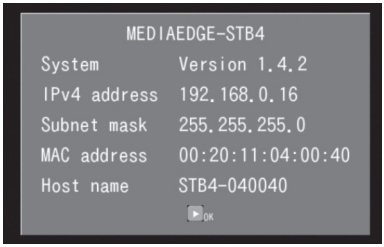
■ メニュー画面が表示されない場合

1

リモコンの △ ボタンを押して MEDIAEDGE-STB4のシステム情報を表示します。

2

MEDIAEDGE-STB4に割り当てられているIPアドレスを確認します。
例)IPアドレス:192.168.0.16

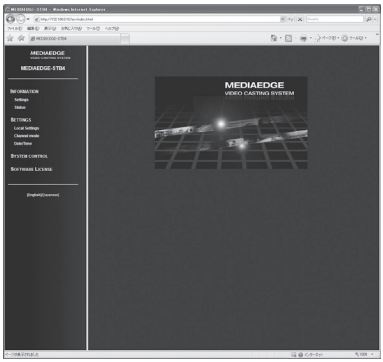


3

サーバーコンピュータを操作してWebブラウザを起動し、MEDIAEDGE-STB4 Webコンソールを開きます。アドレスバーにMEDIAEDGE-STB4のIPv4アドレスを入力してください。
例)http://192.168.0.16

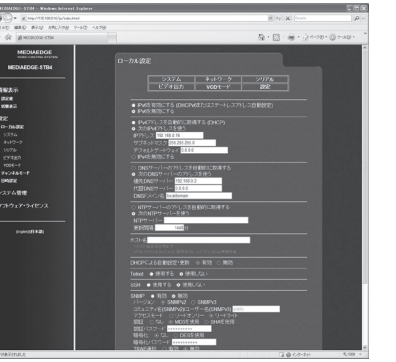
4

MEDIAEDGE-STB4 Webコンソールのメイン画面(英語)が表示されます。左下の[Japanese]をクリックしてください。



5

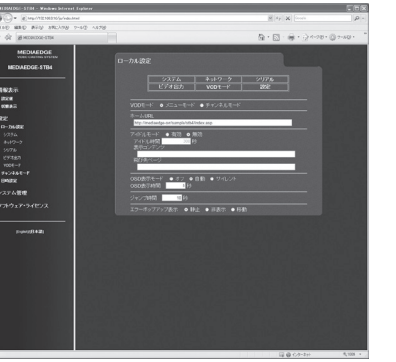
[ローカル設定]→［ネットワーク］ をクリックしてMEDIAEDGE-STB4のネットワーク設定画面を表示します。



6

[IPv4アドレスを自動的に取得する（DHCP）] および [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択します。また、左側のウィンドウで[VOD モード]をクリックして開き、[ホームURL]欄にメニューページのURLを入力します。

※工場出荷時、URLは[http://mediaedge-svr/sample/stb4/index.asp]が設定されています。サーバー名が異なる場合は[mediaedge-svr]の箇所を変更してください。



7

ローカル設定を変更した場合は 画面右上の［設定］をクリックし、[ユーザー名]、[パスワード]を入力して[設定]ボタンをクリックします。メニュー画面が正しく表示されていることを確認してください。

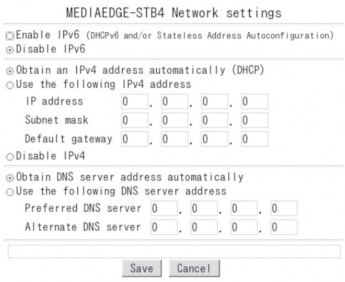
※工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白(ブランク)に設定されています。

1-3　DHCPを使用しない場合

■ MEDIAEDGE-STB4のIPv4アドレスを設定する

1

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの ボタンを押し続けてください。
[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]が起動します。
※MEDIAEDGE-STB4がすでに起動している場合は、リモコンの ボタンでシャットダウンした後、もう一度起動して、 ボタンを押し続けてください。



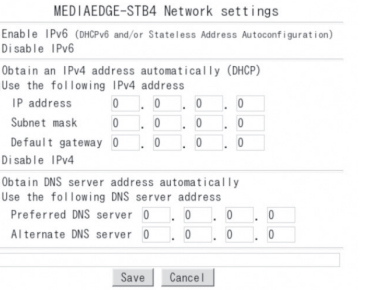
ポイント
[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]画面が表示されない場合はMEDIAEDGE-STB4の電源プラグを抜き、5秒以上経過してから再度、手順1の操作を行ってください。

●何も表示されない場合
1. MEDIAEDGE-STB4の前面部のPOWERランプが点灯していることを確認してください。消灯している場合は、ACアダプタやDCプラグの接続を確認してください。
2. 「第3章　②ディップスイッチによる設定」を参照し、MEDIAEDGE-STB4のビデオ出力を使用しているモニタに適合した出力に設定してください。
3. MEDIAEDGE-STB4の背面やTVモニタのビデオケーブルの接続を確認してください。TVモニタの入力切替が、ビデオケーブルを接続している入力端子を選択できているか確認してください。

●[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]画面が表示されず、起動画面が表示される場合
1. リモコンの ボタンを確実に押しているか確認してください(リモコンからの信号を受信するとKEYランプが点灯します)。
2. KEYランプが反応しない場合は、リモコンIDが正しく設定されているか、またはリモコンの乾電池が正しく装着されているかを確認してください。
3. [ローカル設定 - システム]の[ネットワーク設定画面]が[無効]に設定されている場合、リモコンの ボタンを押しても[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]画面は表示されません。
MEDIAEDGE-STB4背面のディップスイッチ8をONに設定してください。

2

リモコンを使って[Use the following IPv4 address]にチェックを付けてください。



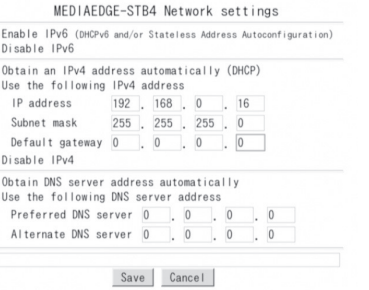
3

リモコンを使ってIPアドレスを入力してください。 ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンでカーソル位置が移動します。[0]～[9]ボタンで正しい数値を入力してください。

ここでは、以下のように入力しています。

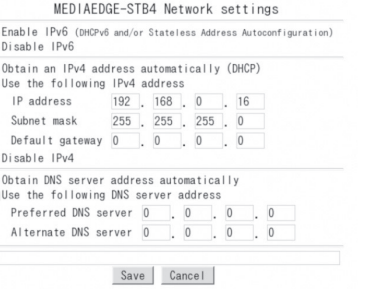
IP address	192.168.0.16
Subnet mask	255.255.255.0
Default gateway	0.0.0.0

※●ボタンでカーソル位置の数字を消去できます。



4

リモコンを使って[Use the following DNS server address]にチェックを付けてください。

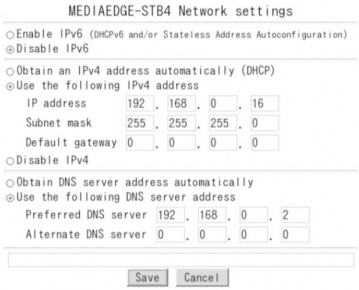


5

リモコンを使ってIPアドレスを入力してください。△▽◁▷ボタンでカーソル位置が移動します。[0]～[9]ボタンで正しい数値を入力してください。
ここでは、以下のように入力しています。

Preferred DNS server　192.168.0.2
Alternate DNS server　0.0.0.0

※(■)ボタンでカーソル位置の数字を消去できます。



6

画面上の[Save]ボタン上でリモコンの(OK)ボタンを押してください。
MEDIAEDGE-STB4が再起動し、右の画面が表示されます。

●MEDIAEDGE-STB4の再起動後、画面が表示されない場合
IPアドレスの設定が適切に行われていません。MEDIAEDGE-STB4の電源プラグを抜き、5秒以上経過してから再度、手順1～6を行ってください。

■ メニュー画面が表示されない場合

1

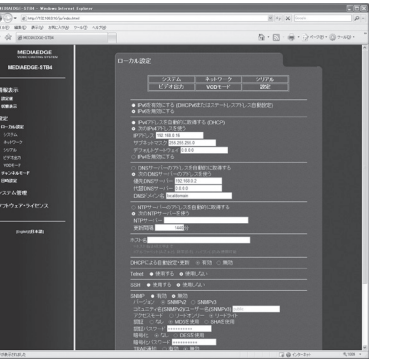
サーバーコンピュータを操作してWebブラウザを起動し、MEDIAEDGE-STB4 Webコンソールを開きます。アドレスバーにMEDIAEDGE-STB4のIPアドレスを入力してください。(例：http://192.168.0.16)

2

MEDIAEDGE-STB4 Webコンソールのメイン画面(英語)が表示されます。画面左下の[Japanese]をクリックしてください。

3

[ローカル設定]→［ネットワーク］ をクリックしてMEDIAEDGE-STB4のネットワーク設定画面を表示します。



4

[次のIPv4アドレスを使う]が選択されており、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]欄に設定した値が表示されていることを確認してください。

次に[次のDNSサーバーのアドレスを使う]を選択し、[優先DNSサーバー]欄にはMEDIAEDGEサーバーのIPアドレス(例：192.168.0.2)を、[代替DNSサーバー]欄は[0.0.0.0]にして[DNSドメイン名]を[localdomain]に設定してください。

また、左側のウィンドウで［VODモード］をクリックして開き、[ホームURL]欄にメニューページのURLを入力してください。工場出荷時は[http://mediaedge-svr/sample/stb4/index.asp]が設定されています。

※DNSサーバーを使用しない場合は[優先DNSサーバー]と[代替DNSサーバー]をそれぞれ[0.0.0.0]に設定し、[DNSドメイン名]を[localdomain]に設定してください。
また、[VODモード]の[ホームURL]に[http://<MEDIAEDGEサーバーのIPアドレス>/Sample/stb4/index.asp]を入力してください。
例) http://192.168.0.2/Sample/stb4/index.asp

5

ローカル設定を変更した場合、画面左上の［設定］をクリックし、[ユーザー名]と[パスワード]を入力して[設定]ボタンをクリックしてください。メニュー画面が正しく表示されることを確認してください。

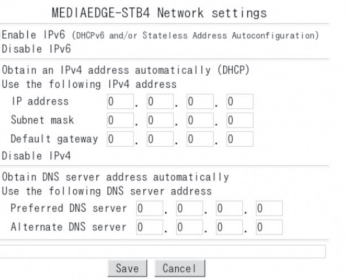
※工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白(ブランク)に設定されています。

■ MEDIAEDGE-STB4のIPv6を設定する

1

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの ⌂ ボタンを押し続けてください。
[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]が起動します。

※MEDIAEDGE-STB4がすでに起動している場合は、リモコンの ⏻ ボタンでシャットダウンした後、もう一度起動して、⌂ ボタンを押し続けてください。



📖ポイント

[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]画面が表示されない場合はMEDIAEDGE-STB4の電源プラグを抜き、5秒以上経過してから再度、手順1の操作を行ってください。

●何も表示されない場合

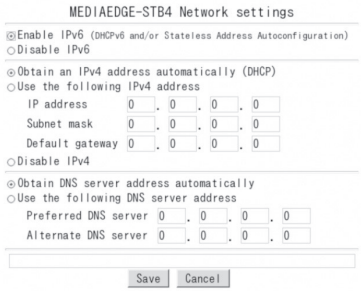
1. MEDIAEDGE-STB4の前面部のPOWERランプが点灯していることを確認してください。消灯している場合は、ACアダプタやDCプラグの接続を確認してください。
2. 「第3章 ②ディップスイッチによる設定」を参照し、MEDIAEDGE-STB4のビデオ出力を使用しているモニタに適合した出力に設定してください。
3. MEDIAEDGE-STB4の背面やTVモニタのビデオケーブルの接続を確認してください。TVモニタの入力切替が、ビデオケーブルを接続している入力端子を選択できているか確認してください。

●[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]画面が表示されず、起動画面が表示される場合

1. リモコンの ⌂ ボタンを確実に押しているか確認してください(リモコンからの信号を受信するとKEYランプが点灯します)。
2. KEYランプが反応しない場合は、リモコンIDが正しく設定されているか、またはリモコンの乾電池が正しく装着されているかを確認してください。
3. [ローカル設定 - システム]の[ネットワーク設定画面]が[無効]に設定されている場合、リモコンの ⌂ ボタンを押しても[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]画面は表示されません。
   MEDIAEDGE-STB4背面のディップスイッチ8をONに設定してください。

2

リモコンを使って[Enable IPv6 (DHCPv6 and/or Stateless Address Autoconfiguration)]にチェックを付けてください。



3

画面上の[Save]ボタン上でリモコンの OK ボタンを押してください。
MEDIAEDGE-STB4が再起動し、右の画面が表示されます。

●MEDIAEDGE-STB4の再起動後、画面が表示されない場合
IPアドレスの設定が適切に行われていません。MEDIAEDGE-STB4の電源プラグを抜き、5秒以上経過してから再度、手順1～3を行ってください。

1-4　MEDIAEDGE-STB4の動作を確認する

■ メニュー画面が表示されることを確認する

起動後に以下のメニュー画面が表示されます。

●何も表示されない場合

1. MEDIAEDGE-STB4の前面部のPOWERランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はACアダプタやDCプラグの接続を確認してください。
2. MEDIAEDGE-STB4の背面やTVモニタのビデオケーブルの接続を確認してください。TVモニタの入力切替が、ビデオケーブルを接続している入力端子を選択できているか確認してください。

■ サンプルコンテンツが再生できることを確認する

[データベースを参照する動的なメニュー]にカーソルを合わせて▶ボタンを押してください。次に[サンプルコンテンツ　HD]にカーソルを合わせて▶ボタンを押してください。再生したいコンテンツ上で▶ボタンを押すと、選択したコンテンツの映像が再生されます。

●映像が表示されない場合

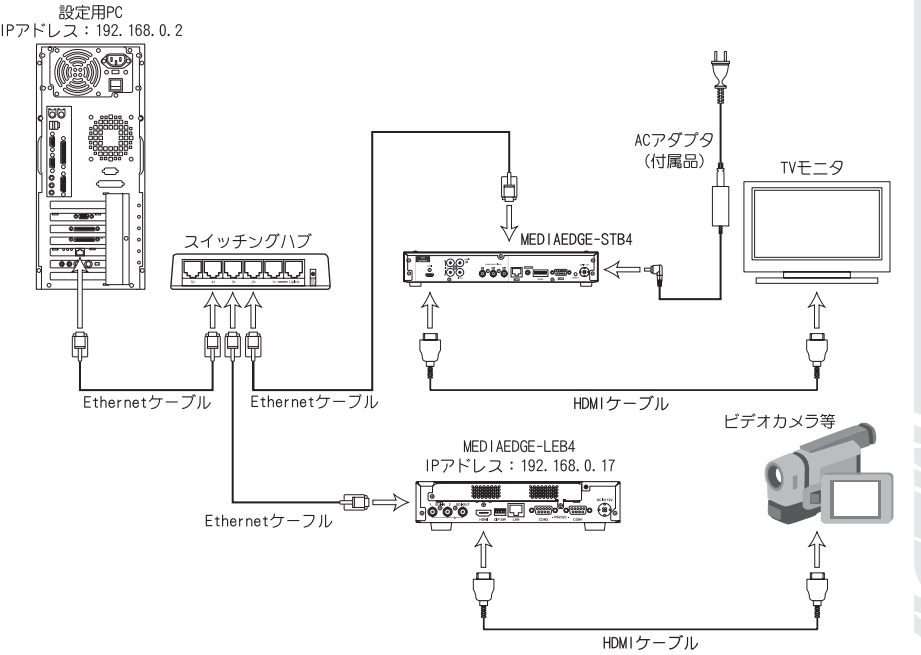
画面に[Connecting to server...]ダイアログが表示されたままの場合は、ストリームサーバーと通信が行われていません。[サーバー設定ツール]などでストリームサーバーサービス(MeSrv)が起動していることを確認してください。

2 MEDIAEDGE-LEB4との接続

ここでは当社製ライブエンコーダボックスMEDIAEDGE-LEB4(以下LEB4と表記)を接続し、LEB4からのライブストリームをMEDIAEDGE-STB4で受信する手順を説明します。LEB4の設定方法についてはLEB4に付属のマニュアルを参照してください。

2-1　接続する

以下の図を例に、MEDIAEDGE-STB4、LEB4および設定用PCを接続してください。



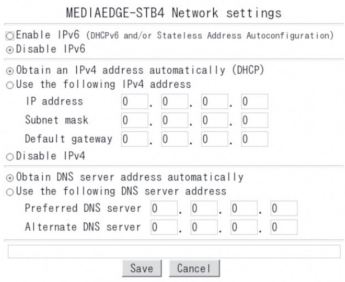
※設定用PCはWebブラウザを利用して、
　MEDIAEDGE-STB4やLEB4の各種動作/パラメータを設定するために使用します。
※LEB4ではデフォルトのビデオ入力端子はSDI1が設定されています。

2-2 MEDIAEDGE-STB4のIPv4アドレス、メニューページのURLを設定する

■ MEDIAEDGE-STB4のIPv4アドレスを設定する

1

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの ⌂ ボタンを押し続けてください。
[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]が起動します。
※MEDIAEDGE-STB4がすでに起動している場合は、リモコンの ⏻ ボタンでシャットダウンした後、もう一度起動して、⌂ ボタンを押し続けてください。



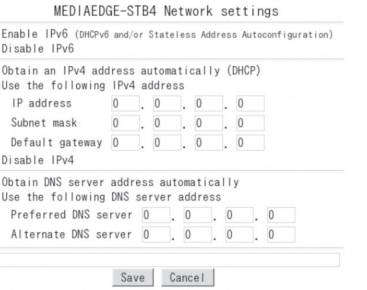
📖ポイント
[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]画面が表示されない場合はMEDIAEDGE-STB4の電源プラグを抜き、5秒以上経過してから再度、手順1の操作を行ってください。

●何も表示されない場合
1. MEDIAEDGE-STB4の前面部のPOWERランプが点灯していることを確認してください。消灯している場合は、ACアダプタやDCプラグの接続を確認してください。
2. 「第3章 ②ディップスイッチによる設定」を参照し、MEDIAEDGE-STB4のビデオ出力を使用しているモニタに適合した出力に設定してください。
3. MEDIAEDGE-STB4の背面やTVモニタのビデオケーブルの接続を確認してください。TVモニタの入力切替が、ビデオケーブルを接続している入力端子を選択できているか確認してください。

●[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]画面が表示されず、起動画面が表示される場合
1. リモコンの ⌂ ボタンを確実に押しているか確認してください(リモコンからの信号を受信するとKEYランプが点灯します)。
2. KEYランプが反応しない場合は、リモコンIDが正しく設定されているか、またはリモコンの乾電池が正しく装着されているかを確認してください。
3. [ローカル設定 - システム]の[ネットワーク設定画面]が[無効]に設定されている場合、リモコンの ⌂ ボタンを押しても[MEDIAEDGE-STB4 Network settings]画面は表示されません。
MEDIAEDGE-STB4背面のディップスイッチ8をONに設定してください。

2

リモコンを使って[Use the following IPv4 address]にチェックを付けてください。

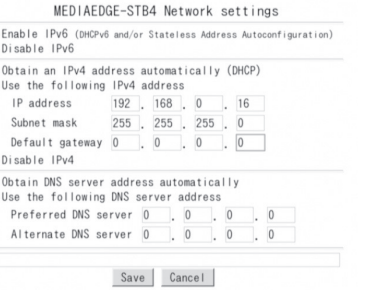


3

リモコンを使ってIPv4アドレスを入力してください。△▽◁▷ボタンでカーソル位置が移動します。[0]～[9]ボタンで正しい数値を入力してください。
ここでは、以下のように入力しています。

IP address 192.168.0.16
Subnet mask 255.255.255.0
Default gateway 0.0.0.0

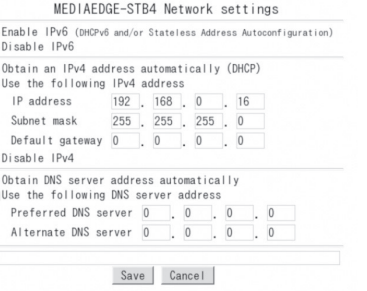
※●ボタンでカーソル位置の数字を消去できます。



4

リモコンを使って[Use the following DNS server address]にチェックを付けてください。

※[Preferred DNS server]および[Alternate DNS server]は0.0.0.0の状態にしておきます。



5

画面上の[Save]ボタン上でリモコンの▶OKボタンを押してください。
MEDIAEDGE-STB4が再起動します。

■ MEDIAEDGE-STB4にメニューページのURLを設定する

1

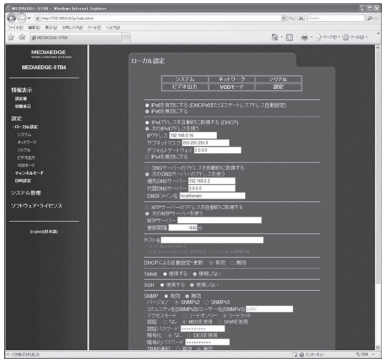
設定用PCを操作してWebブラウザを起動し、MEDIAEDGE-STB4 Webコンソールを開きます。アドレスバーにMEDIAEDGE-STB4のIPアドレスを入力してください。
(例：http://192.168.0.16)

2

MEDIAEDGE-STB4 Webコンソールのメイン画面(英語)が表示されます。画面左下の[Japanese]をクリックしてください。

3

[ローカル設定]→［ネットワーク］をクリックしてMEDIAEDGE-STB4のネットワーク設定画面を表示します。



4

[次のIPv4アドレスを使う]が選択されており、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]欄に設定した値が表示されていることを確認してください。
次に[次のDNSサーバーのアドレスを使う]を選択し、[優先DNSサーバー]欄と[代替DNSサーバー]欄は[0.0.0.0]にして[DNSドメイン名]を[localdomain]に設定してください。
また、左側のウィンドウの［VODモード］をクリックして開き、[ホームURL]欄にメニューページのURL[http://(LEB4のIPアドレス)/menu/]を入力してください。
(例：http://192.168.0.17/menu/)

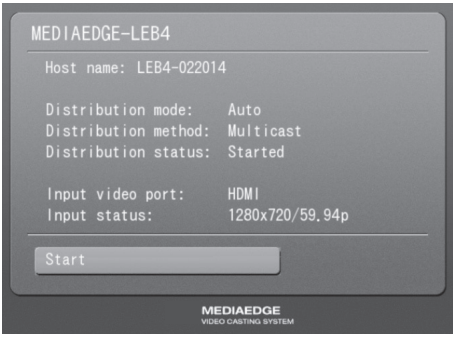
5

ローカル設定を変更した場合、 画面右上の［設定］をクリックして、 [ユーザー名]と[パスワード]を入力して[設定]ボタンをクリックしてください。
[MEDIAEDGE-LEB4]メニュー画面が正しく表示されることを確認してください。
※工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白(ブランク)に設定されています。

2-3　MEDIAEDGE-STB4の動作を確認する

■ メニュー画面が表示されることを確認する

電源投入後しばらくすると、以下のメニュー画面が表示されます。



●何も表示されない場合

1. MEDIAEDGE-STB4の前面部のPOWERランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はACアダプタやDCプラグの接続を確認してください。
2. MEDIAEDGE-STB4の背面やTVモニタのビデオケーブルの接続を確認してください。TVモニタの入力切替が、ビデオケーブルを接続している入力端子を選択できているか確認してください。

■ LEB4からのライブ配信ストリームが再生できることを確認する

MEDIAEDGE-STB4のリモコンを操作して▶ボタンを押してください。LEB4のH.264エンコードおよび配信が開始され、TVモニタに再生映像が表示されます。

MEDIAEDGE

MEDIAEDGE

MEDIAEDGE-STB4の設定方法

3

この章ではMEDIAEDGE-STB4の動作モードや動作パラメータ、それらの設定方法について詳しく説明します。

- Webブラウザによる設定
- ディップスイッチによる設定
- ファームウェアのアップデート
- メンテナンスモード

📖注意！
Webブラウザを使用してMEDIAEDGE-STB4の設定を行う場合、Webブラウザ側の設定でJavaScriptが無効になっていたり、インターネットセキュリティのアプリケーションがインストールされていると、正常に動作しない場合があります。

1 Webブラウザによる設定

1-1 MEDIAEDGE-STB4 Webコンソールの呼び出し

MEDIAEDGE-STB4と同一ネットワーク上にあるコンピュータ(サーバーなど)を使います。Webブラウザを起動し、設定対象となるMEDIAEDGE-STB4のセットアップ画面(Webコンソール)を呼び出します。

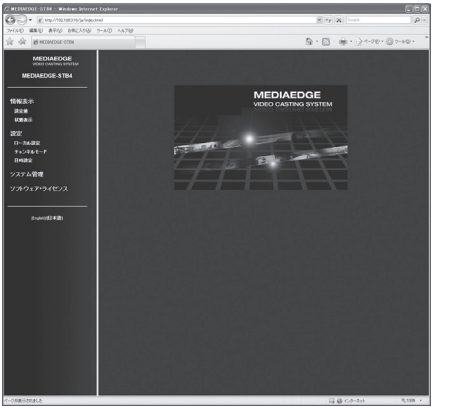
例) MEDIAEDGE-STB4のIPアドレスが 192.168.0.16 である場合、次のようにURLを入力します。

http://192.168.0.16/

MEDIAEDGE-STB4のセットアップ画面(Webコンソール)を起動すると英語画面が表示されます。画面左下の[Japanese]をクリックして日本語表示に切り替えてください。

1-2　MEDIAEDGE-STB4トップページ

Webコンソールを起動して表示されるトップページには、次の項目が表示されています。



情報表示	[設定値]、[状態表示]ページへのリンクで構成されています。各ページでは、ファームウェアのバージョンや動作中の設定値を表示します。
設定	[ローカル設定]、[チャンネルモード]、[一括設定]、[日時設定]ページへのリンクがあります。MEDIAEDGE-STB4本体に保存されているローカル設定の変更や、チャンネルモードの設定、日時の設定を行うことができます。
システム管理	[再起動、停止]、[設定初期化]、[ファームウェア更新]、[情報の取得]、[フォントのインストール]、[ユーザー名・パスワード変更]ページへのリンクがあります。
ソフトウェア・ライセンス	本システムで使用しているソフトウェア・ライセンス表示ページへのリンクがあります。

1-3　情報表示 - 設定値

「システム」、「ネットワーク」、「シリアル」、「ビデオ出力」、「VODモード」、「チャンネルモード」ページで構成されます。各ページに、現在のファームウェアバージョンが表示されています。

システム	リモコンID、タイムゾーン、時計表示、表示言語、リモートログ、情報表示、ネットワーク設定画面、デジタル音声出力（Dolby Digital）、音量を表示します。
ネットワーク	IPv6、DHCPおよびIPv4アドレス、DNSサーバー、NTPサーバー、ホスト名、DHCPによる自動設定・更新 SNMP、DGCP、バッファリング時間、FEC、RTSPキープアライブ、RTSPキープアライブ失敗時の再接続、RTSPエラー時のリトライ動作を表示します。
シリアル	現在のリモートシリアルの設定を表示します。
ビデオ出力	表示モード、色空間（HDMI）、RGB出力レンジ（HDMI）、ストリーム色空間の強制設定、モニタアスペクト、4:3モニタへ映すときのモード、OSD色深度、OSD背景色（RRGGBB)、ストリームが途絶えた時の表示、クローズドキャプションを表示します。
VODモード	現在のVODモード、ホームURL、アイドルモード、アイドル時間、表示コンテンツ、飛び先ページ、OSD表示モード、OSD表示時間、ジャンプ時間、エラーポップアップ表示を表示します。
チャンネルモード	デフォルトコンテンツのURLおよび最大99チャンネル分のコンテンツURLを表示します。

1-4　情報表示 - 状態表示

MEDIAEDGE-STB4の内部ステータスおよび各種ログが表示されます。

■ 表示種別

ログの種類を[ステータス]、[動作ログ]、[再生ログ]の項目から選択して表示します。

■ 更新間隔

ログの更新間隔を指定します。[動作ログ]選択時のみ手動更新となります。

■ 更新まであと

ログの更新までカウントダウンします。

1-5　設定 - ローカル設定

ローカル設定メニューではシステムに保存されているローカル設定を変更します。設定完了後、画面右上の[設定]をクリックし、ユーザー名とパスワードを入力して［設定］ボタンをクリックしてください。
本設定の変更にはシステムの再起動が必要になる場合があります。

■ 設定パスワード

ローカル設定の変更を行う場合、ユーザー名とパスワードが必要です。工場出荷時のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名およびパスワードを変更している場合は、変更したユーザー名、パスワードを入力してください。

【システム】

リモコンID

MEDIAEDGE-STB4が操作を受け付けるリモコンのリモコンIDを設定します。
［無効］にするとリモコン操作を受け付けません。送信機のリモコンIDを設定する方法については本書「APPENDIX」を参照してください。

タイムゾーン

タイムゾーンを使用するエリアもしくは時差を設定します。

時計表示

画面に日時を表示する機能の有効/無効を設定します。

表示言語

MEDIAEDGE-STB4で表示する言語を設定します。

リモートログ

リモートログ出力の有効/無効を設定します。有効の場合は出力先ホスト(ホスト名またはIPアドレス)を設定します。

情報表示

画面にシステム情報を表示する機能の有効/無効を設定します。

ネットワーク設定画面

起動時にリモコンの ボタンで「MEDIAEDGE-STB4 Network settings」を表示する場合は有効にします。

デジタル音声出力(Dolby Digital)

Dolby Digital音声をデジタル出力(S/PDIF、HDMI)する際の処理を設定します。

スルー	Dolby Digital音声のまま出力します。
LPCM 2ch	LPCM 2chにダウンミックスして出力します。

音量

AUDIO OUT、HDMI端子から出力される音量を設定します。通常は0(ミュート)～50(0dB)の範囲で設定します。51(+1dB)～74(+24dB)に設定すると音声が拡大されますが、コンテンツによっては音声が歪むことがあります。

【ネットワーク】

IPv6の有効/無効

IPv6を使用するかどうかを設定します。

IPv4の有効/無効とその他IPv4の設定

IPアドレスの取得方法および詳細設定を行います。
[次のIPv4アドレスを使う]にチェックを付けた場合、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、および[デフォルトゲートウェイ]の設定が可能となります。
[IPv4を無効にする] を選択した場合、IPv4アドレスを使用しません。

DNSサーバー設定

DNSサーバーの取得方法および詳細設定を行います。[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]にチェックをつけた場合、DHCPサーバーから自動取得します。

NTPサーバー

NTP(Network Time Protocol)サーバーを利用した時刻補正の使用/不使用を設定します。
[NTPサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択した場合、DHCPを使用してNTPサーバーのアドレスを取得し、[次のNTPサーバーを使う]にチェックを付けた場合は、使用するNTPサーバー(サーバー名、またはIPアドレス)を設定します。更新間隔は[NTPサーバーのアドレスを自動的に取得する]、[次のNTPサーバーを使う]のどちらにチェックを付けた場合でも設定する必要があります。

ホスト名

MEDIAEDGE-STB4のホスト名を設定することができます。

DHCPによる自動設定・更新

MEDIAEDGE-SVS4付属の「ベンダ固有情報設定ツール」を使用することでDHCPによる自動設定やファームウェアの自動更新を行えます。

SNMP

ネットワーク接続された機器を一括管理するプロトコルであるSNMPに関する設定を行います。

DGCP

通信プロトコルであるDGCPに関する設定を行います。

ポート番号：	DGCPで使用するポート番号を設定します。
マルチキャストアドレス：	DGCPで使用するマルチキャストアドレスを設定します。
グループID：	所属するグループのグループIDを設定します。
認証：	認証方法を設定します。
リモコン処理：	リモコン操作を受信した時の動作を設定します。

バッファリング時間

通信時のバッファリング時間(映像遅延時間)を0/200/500/1000ミリ秒の中から設定します。

FEC

FEC(Forward Error Correction)の有効/無効を選択します。

RTSPキープアライブ

RTSP(Real Time Streaming Protocol)キープアライブの有効/無効を設定します。

RTSPキープアライブ失敗時の再接続

RTSPキープアライブ失敗時の再接続の有効/無効を設定します。

RTSPエラー時のリトライ動作

MEDIAEDGE-SVS4やMEDIAEDGE-LEB4がRTSPエラーレスポンスを返した場合、RTSP接続をリトライするかを設定します。

【シリアル】

リモートシリアル

リモートシリアル機能の設定を行います。無効/連動/固定接続/サーバー動作より選択します。

無効	リモートシリアルを無効にします。
連動 (ストリームサーバー)	接続しているストリームサーバーにシリアルコマンドを送信します。
固定接続	指定したホストに対してシリアルコマンドを送信します。
サーバー動作	待機ポートに接続してきたホストとの間でシリアルコマンドを送受信します。

接続先ポート番号

シリアルコマンド送信先のポート番号を設定します。

待機ポート番号

シリアルコマンドの受信に使用するポート番号を設定します。

プロトコル

通信プロトコルを設定します。TCP/UDPより選択します。

通信速度

シリアルポートの通信速度を設定します。

データビット長

シリアルポートのデータビット長を設定します。

パリティ

シリアルポートのパリティ(データの誤りを検出する技法)を設定します。

ストップビット長

シリアルポートのストップビット長を設定します。

ログ出力

ログ出力の有効/無効を設定します。シリアルポート出力で流れている通信データの出力状況をログ出力する場合は[有効]を選択します。

【ビデオ出力】

表示モード

TVモニタへの出力モードを設定します。HDMIへの出力時、TVモニタ側で対応していない設定の場合は表示モードを自動で設定します。

色空間(HDMI)

HDMI出力での色空間規格を選択します。HDMIへの出力時、TVモニタ側で対応していない設定の場合は色空間を自動で設定します。

RGB出力レンジ(HDMI)

HDMI端子からRGB出力する際の出力レンジを設定します。

16-235	RGB 16～235の範囲で設定します。
0-255	RGB 0～255の範囲で設定します。

ストリーム色空間の強制設定

使用する素材にあわせて[ストリーム色空間の強制設定]を以下のように設定してください。

無効	ストリーム色空間の強制設定を行いません（自動設定）。
BT.709 (HD)	HD素材を使用する場合に選択します。
BT.601 (SD)	SD素材を使用する場合に選択します。

モニタアスペクト

表示に使用するモニタにあわせてモニタアスペクトを設定します。

4:3モニタへ映すときのモード

4:3モニタ出力時の映像表示方式を設定します。

OSD色深度

OSD表示の色深度を指定します。
H.264のコンテンツをOSD表示と同時に再生する場合は16bppを指定してください。

OSD背景色(RRGGBB)

OSDの背景色を16進数で指定します。

ストリームが途絶えた時の表示

MEDIAEDGE-SVS4やMEDIAEDGE-LEB4からのストリームが再生中に途絶えたときのビデオリージョンの表示を設定します。
OSD背景色： OSD背景色(RRGGBB)で設定された色を表示します。
最終フレーム：動画の最後のフレームを表示し続けます。

クローズドキャプション

入力ストリームに含まれる字幕情報(CEA-608規格)をビデオ信号に合成して出力します。
アンシラリデータ：
以下の場合にはチェックを付けてください。
- MEDIAEDGE LEB Proから配信されるストリームに含まれるクローズドキャプションを表示する場合
- MEDIAEDGE-SVS4から配信されるH.264のストリームに含まれるクローズドキャプションを表示する場合

【VODモード】

VODモード

メニューモード	メニューを使用するモードに設定します。
チャンネルモード	メニューを使用しないモードに設定します。

ホームURL

メニューモード起動時に表示するURLを指定します。

アイドルモード

アイドルモードとは一定時間操作が行われなかった場合に、指定されたコンテンツを再生するモードです。
アイドルモードの有効/無効、アイドル状態の有効時間、アイドル時間経過後に表示するコンテンツ(表示コンテンツはRTSP URLで指定、動画コンテンツのみ対応)、表示コンテンツが停止された後に移動するリンク先ページ(リンク先ページはHTTP URLで指定)を設定します。
リンク先を空欄(ブランク)にした場合は元のページへ移動します。

OSD表示モード

OSD表示モードの設定を行います。

オフ	OSD表示を行いません。
自動	OSD表示を行い、自動で消去します。
手動	ユーザー操作により、OSD表示/非表示を切り替えます。

OSD表示時間

OSD表示モードが自動のときのOSD表示時間を設定します。

ジャンプ時間

コンテンツ再生中にリモコンの⏪/⏩ボタンを押したときのジャンプ時間を設定します。

IMEDIAEDGE

エラーポップアップ表示

ポップアップ表示の動作（静止/非表示/移動）を設定します。[移動]を選択することで、画面の焼き付けを軽減することができます。

1-6　設定 - チャンネルモード

チャンネルモードの設定を行います。設定を行う場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワードを入力してください。

デフォルトコンテンツ

デフォルトコンテンツのURLを設定します。空欄の場合は黒画面が表示されます。

例：rtsp://MEDIAEDGE-SVR/Content01

チャンネル設定

Title	コンテンツのタイトルを設定します。
URL	コンテンツのURLを設定します。 例：rtsp://MEDIAEDGE-SVR/Content01

1-7　設定 - 一括設定

一括設定ファイルにより設定値を一括で設定します。設定を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワードを入力してください。

一括設定ファイル

一括設定ファイルが存在するパスを設定します。[参照]ボタンをクリックして一括設定ファイルを選択します。一括設定ファイルは「システム管理 - 情報の取得 - 設定値の取得」により取得することが可能です。

1-8　設定 - 日時設定

日時の設定を行います。設定を行う場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワードを入力してください。

年/月/日/時/分/秒

MEDIAEDGE-STB4の日時を設定します。

PCの時計に同期する

PC内蔵時計の時間と同期させる場合はチェックをつけます。チェックをつけると現在のPC内蔵時計の時間が表示されます。

MEDIAEDGE

1-9　システム管理 - 再起動、停止

システムの再起動および停止を行います。実行する場合、ユーザー名とパスワードを入力して、[再起動] もしくは [シャットダウン] ボタンをクリックしてください。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワードを入力してください。

1-10　システム管理 - 設定初期化

システムの設定を初期化します。実行する場合、ユーザー名とパスワードを入力して、［初期化］ボタンをクリックしてください。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワードを入力してください。

1-11　システム管理 - ファームウェア更新

ファームウェアの更新を行います。実行する場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワードを入力してください。

現行バージョン

現行バージョンを表示します。

アップデートファイル

アップデートファイルが存在するパスを設定します。[参照]ボタンをクリックしてアップデートファイルを選択します。

バージョンチェックを行わない

ファームウェアのバージョンチェックを行わず、強制的にファームウェアを更新します。

1-12　システム管理 - 情報の取得

MEDIAEDGE-STB4の設定やログをファイルとして取得します。実行する場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワードを入力してください。

設定値の取得

MEDIAEDGE-STB4の設定情報を取得する場合に使用します。このファイルはDHCPによる自動設定で使用します。使用する場合はMEDIAEDGE-SVS4の[ベンダ固有情報設定ツール]に設定ファイルのURLを指定してください。([ベンダ固有情報設定ツール]については「MEDIAEDGE-SVS4 User's Guide」を参照してください。)

SMIL DTDファイルの取得

SMIL DTD(Document Type Definition)ファイルを取得する場合に使用します。

MIBファイルの取得

SNMPで使用するMIB(Management Information Base)を取得する場合に使用します。

ログの取得

動作ログを取得する場合に使用します。

1-13　システム管理 - フォントのインストール

MEDIAEDGE-STB4へのフォントのインストールを行います。実行する場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワードを入力してください。

フォントの状態

インストールされたフォントを表示します。

標準フォントに戻します。

工場出荷時の標準フォントに戻します。

フォントファイル

インストールするフォントファイル名を指定します。TrueType(.ttf)フォントのみ指定可能です。

1-14　システム管理 - ユーザー名・パスワード変更

ユーザー名・パスワードを変更します。変更を行う場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワードを入力してください。

新ユーザー名

新たに登録するユーザー名を入力します。

新パスワード

新たに登録するパスワードを入力します。

新パスワード再入力

新たに登録するパスワードを再入力します。

1-15　ソフトウェア・ライセンス

本システムで使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。

2 ディップスイッチによる設定

2-1 WOL(Wake On LAN)

WOLは終了状態のMEDIAEDGE-STB4をネットワーク経由で起動させることができる機能です。MEDIAEDGE-STB4背面のディップスイッチ1をONにしてMEDIAEDGE-STB4を終了することにより、WOLが有効となります。

> 🕮注意！
> MEDIAEDGE-STB4を終了している状態でディップスイッチを変更した場合、変更内容は反映されません。MEDIAEDGE-STB4を起動後、終了させる必要があります。

2-2 映像出力フォーマットの設定

MEDIAEDGE-STB4背面のディップスイッチ8をONにすることにより、MEDIAEDGE-STB4の映像出力フォーマットを設定することができます。使用するモニタに適したフォーマットに設定してください。

> 🕮ポイント
> [ローカル設定-システム]の[ネットワーク設定画面]が[有効]に設定されている場合(工場出荷時の設定)は、起動時にリモコンの⌂ボタンを長押しすることでも同様に設定することができます。

■ 設定方法

(1) MEDIAEDGE-STB4が起動している場合はMEDIAEDGE-STB4の電源を切ります。
(2) MEDIAEDGE-STB4背面のディップスイッチ8をONにします。
(3) MEDIAEDGE-STB4を起動し、POWERランプが点滅から点灯状態になるまで待ちます。
(4) リモコンの[DISP]ボタンを押すことで、表示されるフォーマットが切り替わります。適合する映像フォーマットになると「MEDIAEDGE-STB4 Network settings」画面が表示され、この画面でネットワークの設定も可能です(第2章参照)。

📖注意！
リモコンの[DISP]ボタンを押すと、映像フォーマットは以下のように移行します。
NTSC(J) → 1080/59.94i → 720/59.94p → NTSC(US) → PAL → 1080/50i → 720/50p → 1080/59.94i(HDMI) → 720/59.94p(HDMI) → 720x480/59.94p(HDMI) → 1080/59.94p(HDMI) → 1080/50i(HDMI) → 720/50p(HDMI) → 720x576/50p(HDMI) → 1080/50p(HDMI) → 640x480/59.94p(HDMI) → NTSC(J)…

(5) リモコンの[POWER]ボタンでMEDIAEDGE-STB4の電源を切ります。
(6) MEDIAEDGE-STB4背面のディップスイッチ8をOFFに戻します。

3 ファームウェアのアップデート

3-1 アップデート方法

■ Webブラウザによるアップデート

(1) MEDIAEDGE-STB4で接続するPCにファームウェアをコピーします。
(2) Webブラウザを使い、MEDIAEDGE-STB4 Webコンソールを呼び出します。
(3) ファームウェア更新を選び、ファイルを指定して更新を行います。
(4) 更新完了後、MEDIAEDGE-STB4は自動的に再起動します。

> 🕮注意！
> [ファームウェアの更新]画面で「バージョンチェックを行わない」にチェックを付けることでファームウェアのバージョンを下げることができます。この場合は必ず"stb4_full_x.x.x.system"のように"full"と表記されているファームウェアを使用してください。

更新されない場合
- ファイルが不正な時。
- 同じ、もしくはより新しいバージョンが既に入っているとき(「MEDIAEDGE-STB4 Webコンソール」の「ファームウェア更新」画面で[バージョンチェックを行わない]にチェックをつけた場合はファームウェアの更新を行います)。

■ DHCPによる自動更新

MEDIAEDGE-SVS4付属の「ベンダ固有情報設定ツール」を使用して、ファームウェアのURLを指定します。[DHCP]と[DHCPによる自動設定・自動更新]が有効になっていれば、MEDIAEDGE-STB4起動時に自動的にファームウェアを更新します。詳細はMEDIAEDGE-SVS4付属のマニュアルを参照してください。

> 🕮注意！
> アップデート中にコンテンツの再生やリモコン操作などを行わないでください。

> 🕮注意！
> アップデート中にMEDIAEDGE-STB4の電源を切らないでください。

4 メンテナンスモード

4-1 メンテナンスモードとは

MEDIAEDGE-STB4のメンテナンスモードは、前項「③ファームウェアのアップデート」においてファームウェア更新に失敗し、MEDIAEDGE-STB4が正常に起動しなくなった場合、もしくは[ユーザー名・パスワードの変更]画面で変更したユーザー名やパスワードを忘れてしまった場合などの緊急復旧用プログラムです。
ファームウェアの更新では通常の更新ファイルではなく、メンテナンスモード専用の更新ファイルを使用します。

■ 接続と設定

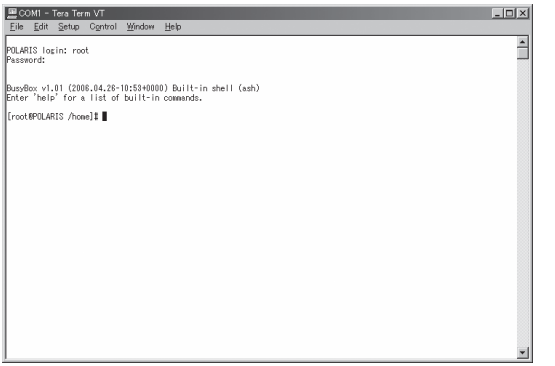
（1）RS-232Cポートを備えるコンピュータとMEDIAEDGE-STB4をシリアルクロスケーブルを使って接続します。
（2）コンピュータ上でターミナル通信ソフトを起動してください。
通信パラメータは次の通りです；

ボーレート：	115200bps
データビット長：	8ビット
ストップビット長：	1
パリティ：	なし
フロー制御：	なし

📖注意！
メンテナンスモードを使用する際、本書に記載された以外の操作は行わないでください。予期しない操作によりファームウェアが壊れる恐れがあります。

■ 起動方法

電源が投入されている状態で、RESETスイッチを押し続けてください。しばらくすると、ターミナル通信ソフトの画面上に POLARIS login: と表示されます。



1:この状態で以下のように入力してください。

```
POLARIS login: root
Password: polaris
```

※パスワードを入力しても画面上には何も表示されません。

2:ターミナル通信ソフトの画面上に以下のように表示されます。

```
Busybox v1.0.1 (2006.04.26-10:53+0000) Built-in shell (ash)
Enter 'help for a list of built-in command.

[root@POLARIS /home]#
```

※ユーザー名やパスワードを正しく入力していない場合は、手順1の画面が繰り返し表示されます。

4-2　ファームウェアの復旧

■ IPアドレスの設定

DHCPが使用可能でない場合、IPアドレスを設定します。

※ここでは設定するIPアドレスが192.168.0.16の場合を例に説明しています。

※DHCPが使用可能な場合は、DHCPによりIPアドレスが割り当てられています。

1:以下のように入力し、IPアドレスを設定してください。

```
[root@POLARIS /home]# ifconfig eth0 192.168.0.16
```

2:IPアドレスを確認する場合は、以下のように入力してください。

```
[root@POLARIS /home]# ifconfig
```

■ ファームデータのダウンロード

Webサーバー、もしくはFTPサーバーからメンテナンスモード更新用のファームデータをダウンロードします。

※ここではファームウェアデータが置かれているFTPサーバーのIPアドレスが192.168.0.2の場合を例に説明しています。

1:以下のように入力し、取得するファームウェアのアドレスを設定してください。

```
[root@POLARIS /home]# cd /tmp
[root@POLARIS /tmp]# wget ftp://192.168.0.2/stb4 _ mnt.x.x.x.tgz
```

※ x.x.x はバージョン番号です。

■ ファームデータの復旧

ファームウェアの復旧を行います。
以下のように入力し、ファームウェアを復旧してください。

※再び[root@POLARIS /tmp]#と表示されるまで操作を行わないでください。

```
[root@POLARIS /tmp]# tar zxvf stb4 _ mnt.x.x.x.tgz
[root@POLARIS /tmp]# ./up
```

■ システムの再起動

システムを再起動します。
以下のように入力し、システムを再起動してください。

```
[root@POLARIS /tmp]# reboot
```

4-3　ユーザー名・パスワードを忘れてしまった場合

ユーザー名もしくはパスワードを忘れてしまった場合には、MEDIAEDGE-STB4を工場出荷時の設定に初期化することができます。初期化完了後、ユーザー名はadmin、パスワードは空白（ブランク）となります。初期化完了後は通常モードで起動してください。

1：以下のように入力し、MEDIAEDGE-STB4を初期化します。

```
[root@POLARIS /home]# setdef
```

MEDIAEDGE

APPENDIX

4

- 制限事項
- MEDIAEDGE-STB4とリモコンのID設定
- MEDIAEDGE-STB4ハードウェア仕様

1 制限事項

■ コンテンツの再生に関する制限

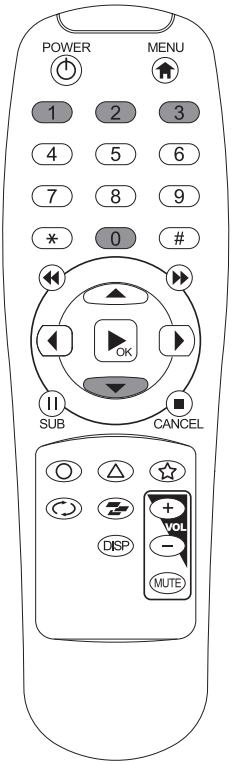
- MEDIAEDGE-STB4でHDとSDコンテンツのシームレス再生を行うと、内蔵のMPEGデコーダデバイスが停止(ハングアップ)する可能性があります。
- MPEG-2/H.264など圧縮形式の異なるコンテンツ間のシームレス再生は対応できません。
- MPEG-1の再生は対応していません。
- H.264と静止画、Flash、HTML、テロップの混在表示を行うとOSD表示が正しく行われないことがあります。この場合は[設定-ローカル設定]-[ビデオ出力]の [OSD色深度] を [16bpp] に設定してください。
- 1つのRTP(Real-time Transport Protocol)に格納するTS/パケット数が7~31のとき、FEC処理時の再生可能最大ビットレートは15Mbpsで、TS/パケット数が32以上のときはFEC処理時の再生可能最大ビットレートが25Mbpsです。
- FEC有効時はストリームサーバーの設定により再生遅延が大きくなることがあります(RTPに格納するTS/パケット数、FEC/パラメータなどに依存します)。また、RTPのTS/パケット数やFEC/パラメータの数値を大きくすると、内部メモリの不足によりコンテンツ再生が正常に行われない場合があります。

2 MEDIAEDGE-STB4とリモコンのID設定

MEDIAEDGE-STB4とリモコンのID設定を0番から3番までに割り当てることができます。デフォルトIDは0番に設定されています。
例えば、2番のIDに設定されたリモコンで、2番に設定されたMEDIAEDGE-STB4を操作することができます。設定は、各リモコンと各MEDIAEDGE-STB4に行う必要があります。

2-1　リモコンにIDを割り当てる

各リモコンにIDを0番から3番まで割り当てることができます。IDの割り当てはリモコンの0～3までの数字ボタンとボタンで設定します。ここではIDを2番に設定する手順を例に説明します。



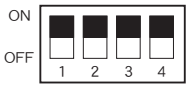
1

数字ボタン 2 とボタンを同時に1秒間以上押し続けてください。

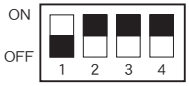
> 注意！
> ID設定が変更されても警告音が鳴るなどの合図はありません。

■ ディップスイッチによる設定

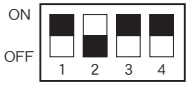
ディップスイッチでIDを割り当てることができます。 IDの割り当てはリモコンの電池ケースをとりはずした場所にあるディップスイッチで設定します。



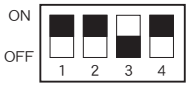
ボタン操作で ID 変更可能（全部 OFF：出荷時）



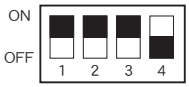
ID0固定（1のみ ON）



ID1固定（2のみ ON）



ID2固定（3のみ ON）



ID3固定（4のみ ON）

2-2　MEDIAEDGE-STB4にIDを割り当てる

1

Webブラウザを起動してMEDIAEDGE-STB4の設定を呼び出します。
例）MEDIAEDGE-STB4のIPアドレスが192.168.0.16の場合
　URL http://192.168.0.16

2

MEDIAEDGE-STB4 Webコンソールが起動します。[ローカル設定 - システム]をクリックしてください。

3

システム設定の[リモコンID]でIDを選択します。

4

画面右上の［設定］をクリックし、ユーザー名とパスワードを入力してください。
※工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白(ブランク)に設定されています。

5

［設定］ボタンをクリックしてください。

3 MEDIAEDGE-STB4ハードウェア仕様

ネットワークインターフェース		
形式	100Base-TX、1000Base-T Ethernet/IEEE802.3フレーム形式に準拠 オートネゴシエーション対応 フルデュプレックス対応	
端子	RJ45モジュラジャック x1	
映像出力		
480/59.94i (NTSC形式) 576/50i (PAL形式)	SD信号	
	端子	コンポジット出力端子 x1 コンポーネント出力BNC端子 x3
1080/59.94i 1080/50i 720/59.94p 720/50p	HD信号	
	端子	コンポーネント出力BNC端子 x3 (適合負荷インピーダンス：75Ω)
1080/59.94i 1080/50i 720/59.94p 720/50p 1080/59.94p 1080/50p 720x480/59.94p 720x576/50p 640x480/59.94p	デジタル信号	
	端子	HDMIコネクタ(HDCP非対応) x1
音声出力		
アナログ音声出力	形式	ステレオライン出力(不平衡)
	端子	左チャネル ピンジャック x1 (白) 右チャネル ピンジャック x1 (赤)
	最大出力レベル	2Vrms @R_L=10kΩ
	負荷インピーダンス	10kΩ以上を推奨
デジタル音声出力	形式	S/PDIF同軸
	端子	ピンジャック x1 (黒)
	出力レベル	0.5V @R_L=75Ω
	負荷インピーダンス	75Ωを推奨

リモートコントロール		
赤外線ワイヤレスリモートコントロール	ワイヤレスリモコン	赤外線受光部 x1
有線リモートコントロール	リモート制御端子	リモート制御用ミニジャック x1 プラグ挿入による自動切換え(赤外線ワイヤレスリモートコントロールとの排他使用)
汎用入出力		
シリアルポート	形式	RS-232C
	端子	D-SUB 9ピン(オス) x1
定格		
電源電圧	ACアダプタ	入力：AC 100V (50Hz/60Hz) 出力：DC 12V 2A (max)
	本体	入力：DC 12V 1.8A (max)
温度条件	動作温度範囲	5～40℃
その他		
外形寸法	W 288 x D 215 x H 44 mm (端子、突起物、ゴム足含まず)	
質量	約1.5kg	

MEDIAEDGE